



2025年7月リリース

Domoリリース機能のご紹介

Ver. 1.0

リリース機能一覧

(一般リリース)

#	内容
1	新しいナビゲーションメニュー
2	ダッシュボード/App Studio関連の機能追加 <ul style="list-style-type: none">日付変数の機能強化ページフィルタのContains演算子
3	Dataetの機能追加 <ul style="list-style-type: none">DataSet複製機能
4	Dataflowの機能追加 <ul style="list-style-type: none">新しいSplitフィルタ/結合タイル
5	ワークフローの機能追加 <ul style="list-style-type: none">新しいデータ型「File」「Fileset」AIエージェントタスクのアップデート

#	内容
6	Cloud Amplifierの機能追加 <ul style="list-style-type: none">Cloud Amplifierの対応機能の追加Append、Upsert、Partitionのサポート (Snowflake/Databricks)ネイティブCDW SQL構文 (Snowflake)クラウド統合の共有 (Databricks、BigQuery、Snowflake、Oracle)Cloud Amplifier 関連項目
7	その他の機能追加 <ul style="list-style-type: none">APIのクライアント作成SSO連携の設定画面の刷新ロールの許可リストデータ更新頻度の制御



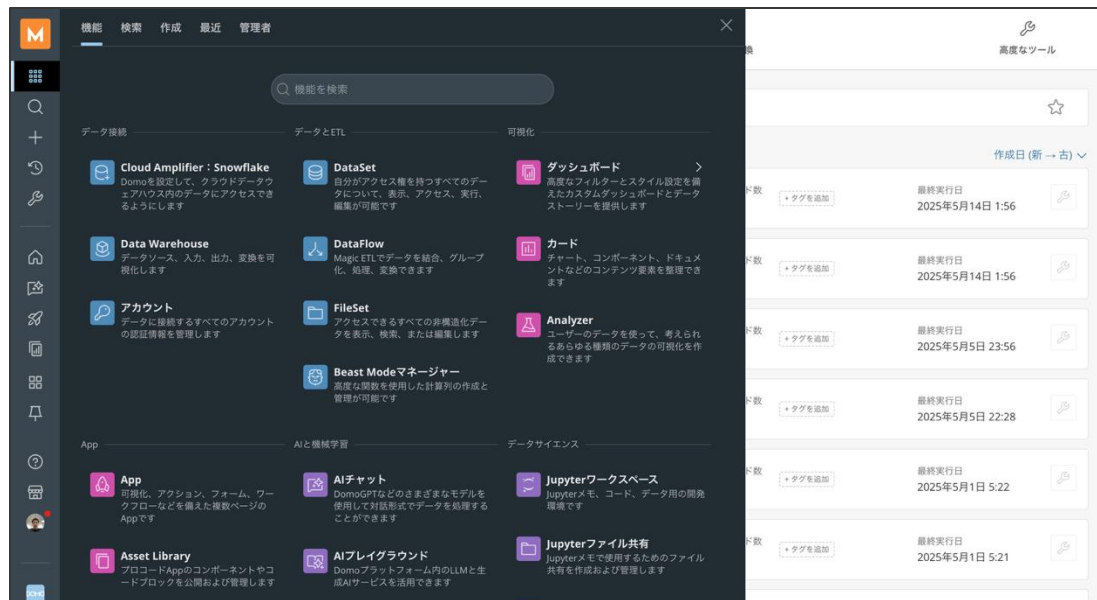
1. 新しいナビゲーションメニュー

1. 新しいナビゲーションメニュー

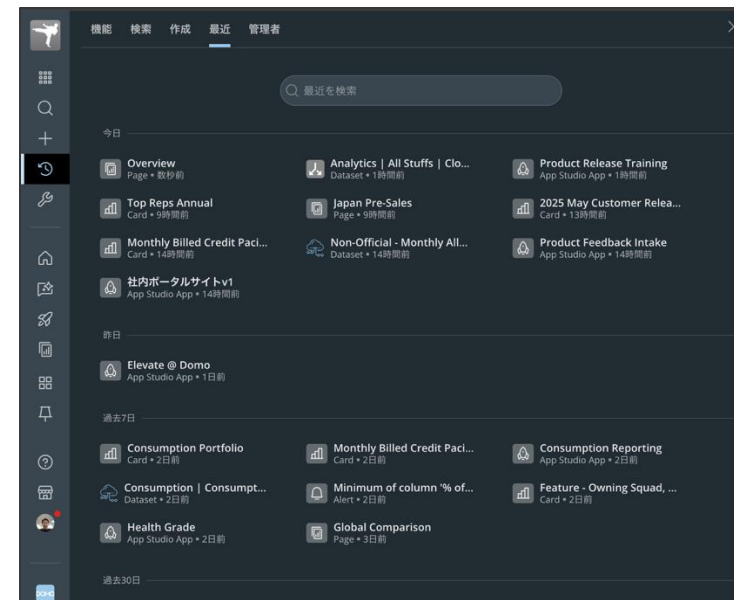
■ 概要

Domoにログイン後のメニューバーの構成が刷新されます。これまではメニュー構成が分かりづらかったり、自分が過去にアクセスしたコンテンツにすぐ辿り着くことができなかったりしましたが、新しいメニューでは検索性や視認性が向上します。また、ダッシュボード/App StudioのApp/データセットなど関わらずユーザにとって重要なコンテンツをメニューの中でピン留めすることもできるようになります。また、よりエンドユーザ様にとって自分に関わりのあるコンテンツのみにアクセスしやすいようにさらなる改善も今後リリース予定となります。

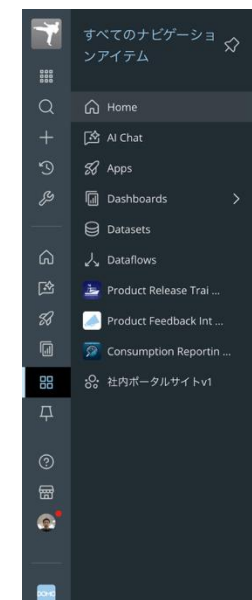
メニューの中の機能一覧



自分が過去アクセスしたコンテンツ



自分がピン留めしたコンテンツ



1. 新しいナビゲーションメニュー（管理者様向け）

■概要

ナビゲーションメニューの変更は管理画面から新しいナビゲーションメニューをグループに限定して公開することができます。

■設定方法

「管理者」メニューの中にある「機能」の「機能の管理」をクリック



適用したいグループや全員に適用することが可能





2. ダッシュボード/App Studio関連の機能追加

1. 日付変数の強化

■ 概要/ユースケース

変数を利用する際にこれまでは絶対的な日付（2025/07/01 etc.）しか選択することができませんでしたが、相対的な日付（今日, 昨日 etc.）を設定できるようになりました。

これによりデフォルトの日付を「今日」にしたいなどが対応できるようになりました。

■ 利用方法

変数の設定画面の値のタイプ「日付」、デフォルトの数値「相対日付」を選択
“CURRENT_DATE()”がプリセットされるため、“今日”の場合はそのまま利用
“昨日”の場合は“CURRENT_DATE() -1”に変更

The screenshot displays a configuration interface for a variable, divided into two main sections: '変数値' (Variable Value) on the left and 'デフォルトのコントロール' (Default Control) on the right.

変数値 (Variable Value):

- 値のタイプ (Value Type):** A dropdown menu with a calendar icon, currently set to '日付' (Date).
- デフォルトの数値 (Default Value):** A dropdown menu currently set to '相対日付' (Relative Date).
- Text Input:** Below the dropdowns is a text field containing 'CURRENT_DATE()'.

デフォルトのコントロール (Default Control):

- 日付のドロップダウン (Date Dropdown):** A control element showing a left arrow, a dropdown arrow, and the text '日付のドロップダウン'.
- プレビュー (Preview):** A section containing a date input field with the value '2025/7/14' and a calendar icon. To the right of the input is a refresh/clear icon.
- 最小 (Minimum) / 最大 (Maximum):** Two sections at the bottom, each with a checkbox and a text input field containing 'デフォルトの値を選択...' (Select default value...). Each input field has a calendar icon.

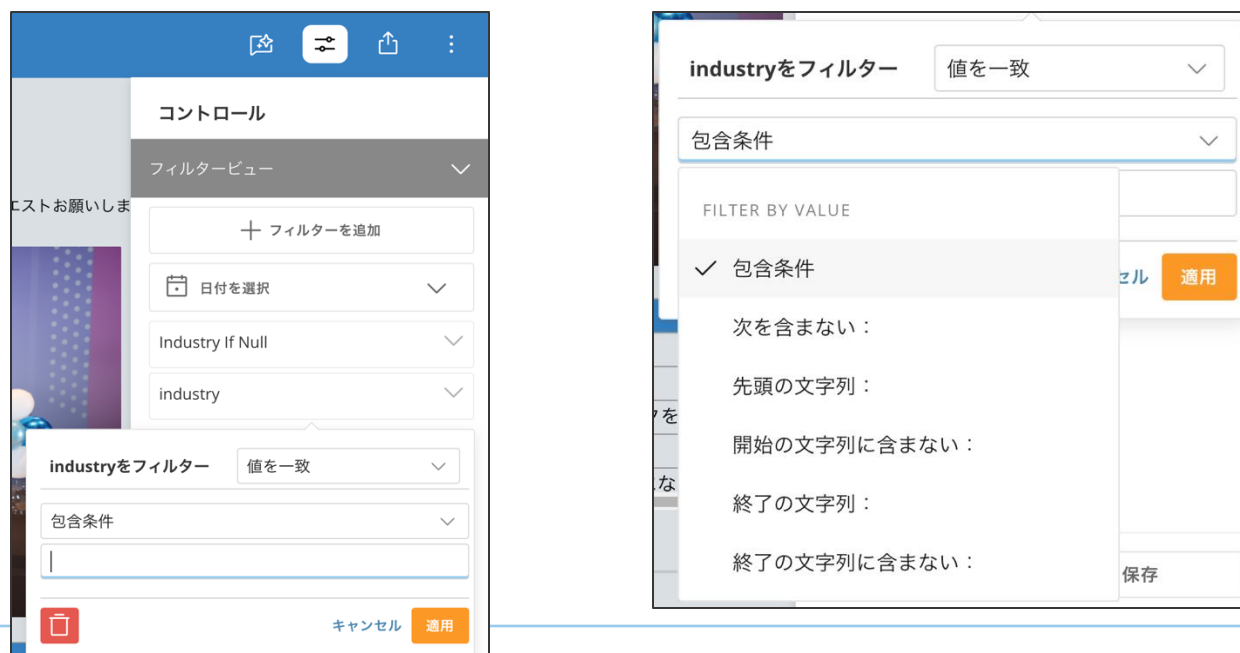
2. ページフィルタのContains演算子

■ 概要/ユースケース

ダッシュボードやApp Studioのページフィルタにおいて、これまでは固有の値を“次に含まれる”や“含めない”で選択するしかなかったため、固有の値が何百何千とあった場合に必要なものの選択が大変だったが、部分一致で特定の値を含むものを全て含むことができるようになりました。これによってフィルタをかける負荷を軽減することが可能です。

■ 利用方法

ダッシュボードやApp Studioのページフィルタで「値を一致」を選択の上、条件および値を入力





3. Dataetの機能追加

3. DataSet複製機能

■ 概要/ユースケース

コネクターで作成されたDatasetの設定の内容を保持したまま、新規のDatasetを複製します。既存のDatasetの一部の設定を変更したDatasetを作成する場合に、複製されたDatasetを利用することで作業負担を軽減できます。

■ 利用方法

データ > データを接続 > Dataset > 各Dataset > DataSetを複製





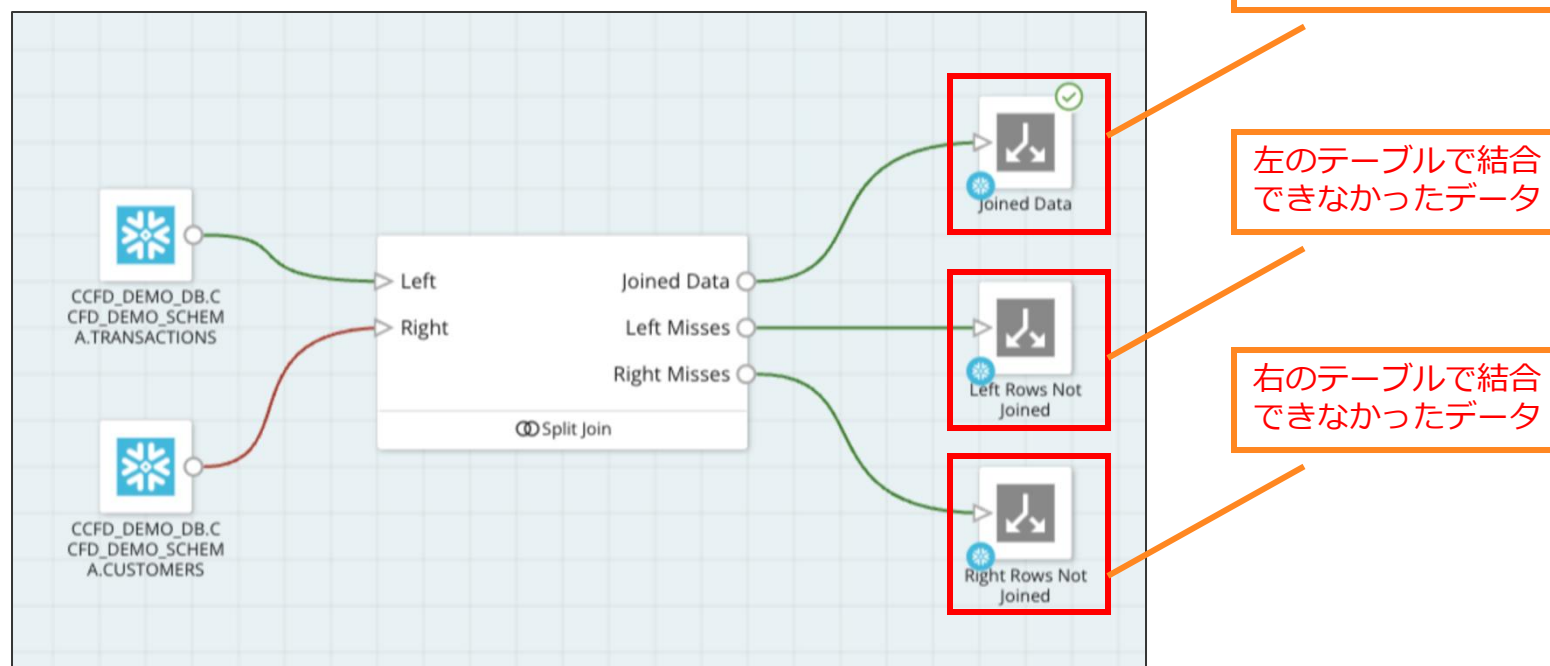
4.Dataflowの機能追加

4. 新しいSplitフィルタ/結合タイル

■ 概要/ユースケース

これまではMagic ETL上でフィルタや結合をする際に出力できるデータは1つのみで、フィルタや結合に応じたデータの分岐は1つ1つフィルタや結合タイルで配置/設定する必要がありましたが、新しいSplitタイルを利用することで1つのタイルで出力したいパターンを定義することができます。

■ 画面イメージ（結合の場合）





5.ワークフローの機能追加

5-1. 新しいデータ型「ファイル」「Fileset」

■ 概要/ユースケース

ワークフローのデータ型の中で新しく「ファイル」「Fileset」が追加されました。

■ 画面



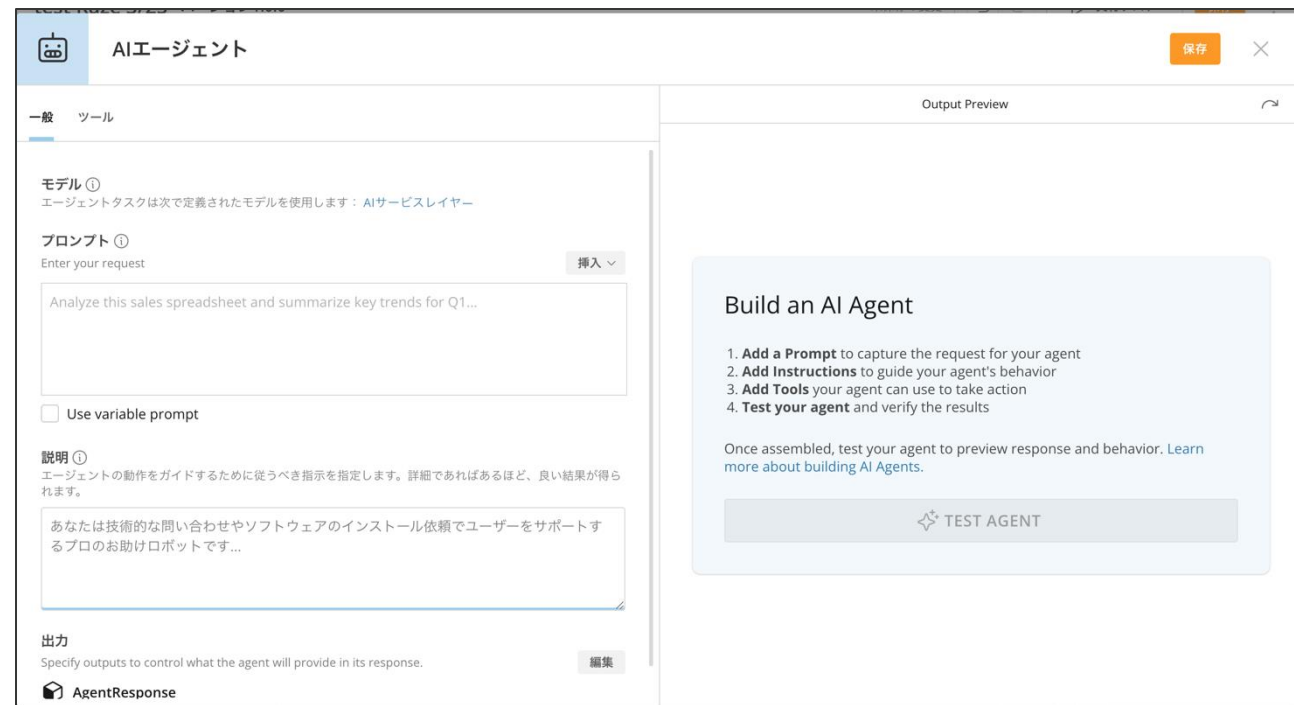
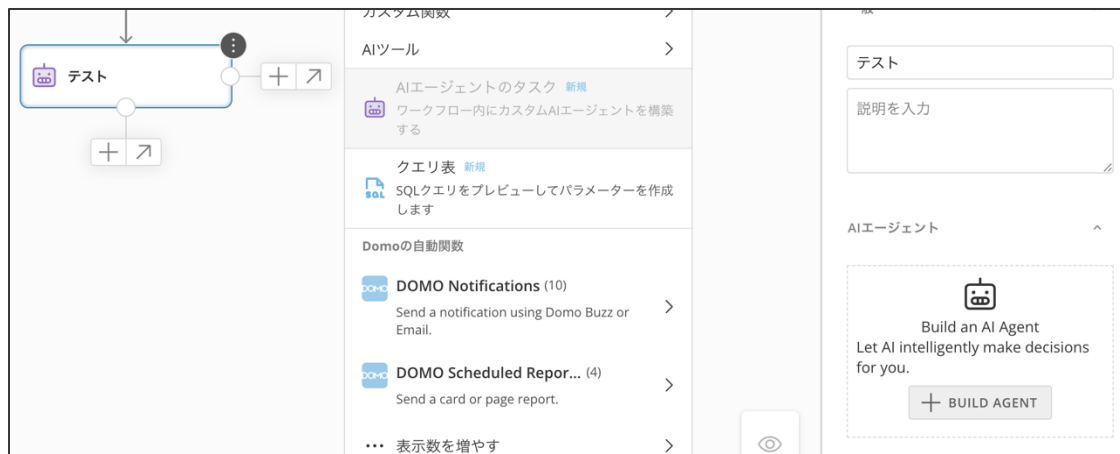
5-2. AIEージェントタスク2.0

■ 概要

AIEージェントタスクのUIが刷新され、テスト実行の画面がプロンプトなどを指定する画面に統一されました。

■ 画面

ワークフローのタスク一覧から「AIEエージェントのタスク」を選択の上、「BUILD AGENT」をクリック
















6. Cloud Amplifierの機能追加

6-1. Cloud Amplifierの対応機能の追加

■概要

- ORACLEの読み込み/書き込み/ウォレット認証、PostgreSQLの読み込み、Amazon Athenaの読み込み
- ORACLEのウォレット認証、databricksのOAuth認証
- snowflake/databricksの環境でMagic ETLの実行

	 snowflake <small>*Including Azure Snowflake</small>	 databricks <small>*Including Azure Databricks</small>	 Google Big Query	 ORACLE CLOUD	 IBM Cloud watsonX	 amazon REDSHIFT	 dremio	 SQL Azure SQL	 MySQL	 PostgreSQL	 Amazon Athena
読み込み	リリース済み	リリース済み	リリース済み	本リリース		リリース済み	リリース済み	ベータ	ベータ	本リリース	本リリース
書き込み	リリース済み	リリース済み	リリース済み	本リリース			ベータ				
ウォレット認証				本リリース							
OAuth	リリース済み	本リリース	リリース済み								
Magic ETL	本リリース	本リリース	ベータ	ベータ							

6-2. Append、Upsert、Partitionのサポート (Snowflake/Databricks)

■ 概要/ユースケース

ETLの出力DatastをSnowflake/Databricksに指定した場合に、「追加する」「パーティション」「Upsert」が利用できるようになります。

■ 利用方法

パーティション設定画面

Partition and qualify

Update Method: Partition

Partition name column: select column

I	INTEGER
P	TEXT
O	INTEGER
ROW_NUM	INTEGER

Database: MAGIC_ETL_LOAD_TEST

Schema: cust_cloud_amplifier_magic

Table: PARTITION_AND_QUALIFY

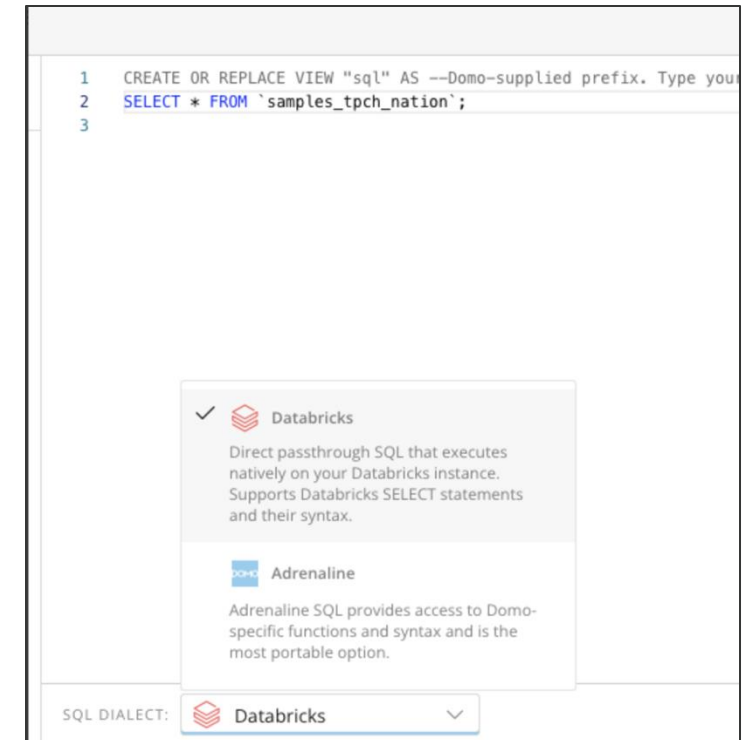
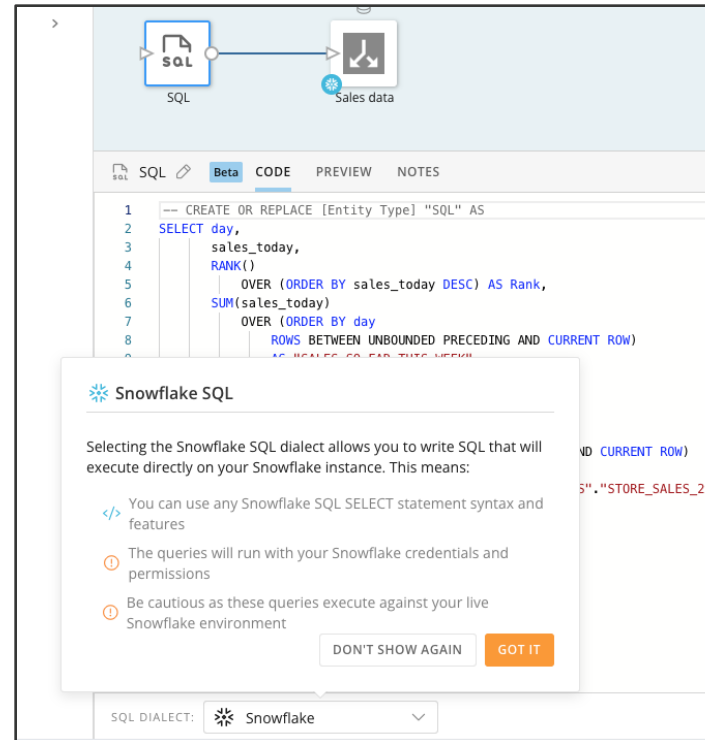
6-3. ネイティブCDW SQL構文 (Snowflake/Databricks)

■ 概要/ユースケース

SQLタイルのパススルーSQLを利用することで、ネイティブのSnowflake/Databricks SQL構文をETLから使用することができます。

■ 利用方法

ETLにてSnowflake/Databricks SQLを記述



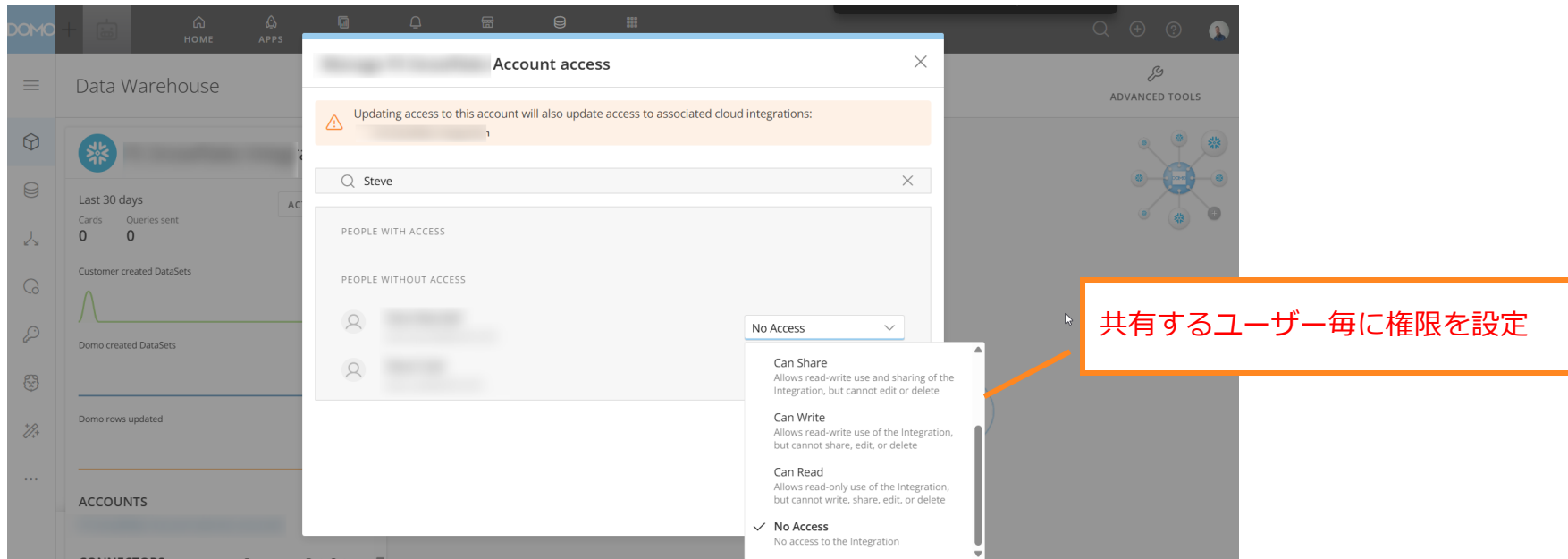
6-4. クラウド統合の共有 (Databricks、BigQuery、Snowflake、Oracle)

■概要/ユースケース

Cloud Amplifierのクラウド統合（設定情報）を他のユーザーに共有できるようになりました。複数人で管理することで特定のユーザーに依存しない安定した運用が可能になります。

■利用方法

Cloud Amplifierのクラウド統合（設定情報）にて共有するユーザーと権限を設定



The screenshot shows the Domo Cloud Amplifier interface. A modal window titled "Account access" is open, displaying a warning message: "Updating access to this account will also update access to associated cloud integrations:". Below this, there is a search bar with "Steve" entered. The modal lists "PEOPLE WITH ACCESS" and "PEOPLE WITHOUT ACCESS". A dropdown menu is open, showing the following options:

- No Access (selected)
- Can Share: Allows read-write use and sharing of the Integration, but cannot edit or delete
- Can Write: Allows read-write use of the Integration, but cannot share, edit, or delete
- Can Read: Allows read-only use of the Integration, but cannot write, share, edit, or delete

A red box highlights the "Can Share" option, and a red arrow points to it with the text "共有するユーザー毎に権限を設定".

6-5. Cloud Amplifier 関連項目

■書き込み設定プロセスの改善（Snowflake、Databricks）

書き込み設定のプロセスを簡略し、効率よく設定できるようにUIを改善しました。

■書き込み時のスキーマ情報の変更(Databricks、BigQuery、Snowflake、Oracle)

Cloud Amplifierの書き込み時にテーブルの列名などのスキーマ情報を変更できるようになりました。



7. その他の機能追加

7-1. APIのクライアント作成

■概要/ユースケース

api.domo.com API エンドポイントでは、API クライアント (ID とシークレット) による認証が必要です。API クライアントの作成と管理 (取り消し) は、将来的にデベロッパーポータルから管理者設定に移行を計画しています。

- ・デベロッパー ポータル (developer.domo.com)
- ・管理者設定 (認証 > APIクライアント)

■利用方法

管理者 > 認証 > APIクライアント

認証

APIクライアント

api.domo.comにアクセスでき、developer.domo.comで生成されたAPIクライアントです

合計 (1)

検索

	名前	説明	クライアントID
:	認証	認証	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXX

APIクライアントの作成

名前

名前

説明

説明

スコープ

☐ アカウント ☐ 監査

☐ Buzz ☐ データ

☐ ダッシュボード ☐ ユーザー

☐ ワークフロー

キャンセル 作成

7-2. SSO連携の設定画面の刷新

■ 概要/ユースケース

SSO連携をより設定しやすく刷新します。業界標準の用語に統一し、利用されない機能（SAMLセットアップウィザードなど）を停止します。

■ 利用方法

管理者 > 認証 > シングルサインオン

The screenshot shows the '認証' (Authentication) section in the management console. The left sidebar lists '認証', 'セッションの設定', 'シングルサインオン', 'パブリケーショングル...', 'アクセストークン', 'APIクライアント', 'セッション管理', and 'Workbench Enterprise'. The main content area is titled 'シングルサインオン (SSO)' and 'シングルサインオン (SSO) の設定'. It has two tabs: '設定' (selected) and '直接サインオンリスト'. Under the '設定' tab, there are two sections. The first section, 'タイプ', has a toggle for '有効' (enabled) which is currently off. The second section, 'SAML', has two buttons: 'デフォルト' and 'エンベットのデフォルト', with a toggle for '有効' which is currently on. There are '設定' (Settings) buttons for both sections.

The screenshot shows the 'SAML (SSO)' configuration modal dialog. It has a close button (X) in the top right corner. The dialog is divided into two main sections. The first section, 'IdPからの情報 ①', contains three input fields: 'アイデンティティプロバイダーのエンドポイントURL ①' (with a 'URLを入力する' placeholder), 'エンティティID ①' (with a 'サードパーティプロバイダーに接続するためのURL' placeholder), and 'リクエストを認証するためのx.509証明書をアップロード ①' (with a '証明書がアップロードされていません' placeholder and an upload icon). The second section, 'IdPが必要とする情報 ①', contains three input fields: 'DomoエンティティID ①', 'SAMLアサーションエンドポイントURL ①', and 'Domo x.509証明書ダウンロード (オプション) ①'. The third field has a '期限切れとなる日: 08/30/2025' and buttons for 'ビュー' and 'ダウンロード'. At the bottom right, there are 'キャンセル' and '保存' buttons.

7-3. ロールの許可リスト

■ 概要/ユースケース

ユーザに権限を割り当てるための権限項目が新しくリリースされ、合わせてその権限を利用して割り当てることのできる権限を設定できるようになりました。これまでは全ユーザの管理権限がないと行うことができなかった権限の割り当てが、この機能によりユーザの権限をアサインする役割などを柔軟に作りやすくなりました。

■ 利用方法

管理者 > ガバナンス > 権限 > 画面右上の「設定」

許可リストを有効にする
アサインできる権限の設定が可能

設定

新規ユーザー追加時のデフォルトの権限

検索

パワーユーザー

☒ 許可リストを有効にする

「ユーザーに権限を割り当てる」許可で割り当て可能な権限

パワーユーザー + ソーシャル + 1つ以上の権限を選択

キャンセル 保存

新しい権限

権限管理

権限の編集、権限の新規作成、そしてインスタンス内の新規ユーザーのデフォルト設定などを行います

権限 41 許可 グリッド 許可ごとの権限を比較

検索

許可する △	カテゴリ	管理者	パワーユー...	編集ユーザー
ページを編集	カードとページ	○	○	○
モバイルAppの設定を編集	モバイルApp	○	○	
モバイルAppの全ての設定を管理	モバイルApp	○		
ユーザーセッションを編集	ユーザーとグル...	○		
ユーザーに権限を割り当てる	会社の管理	○		
リポジットプロモーションを管理する	Sandbox	○		
リポジットを管理する	Sandbox	○		
レポート (Report Builder) を編集	カードとページ	○	○	○
ワークフローを管理する	ワークフロー	○		
ワークフローを作成する	ワークフロー	○	○	○

7-4. データ更新頻度の制御

■ 概要/ユースケース

ユーザやグループによってコネクタとDataflowの更新頻度を制御することができるようになりました。
これによって利用者が間違って更新頻度を1時間単位などに設定して余計なクレジット消化が発生しないように管理することが可能になります。

■ 利用方法

管理者 > ガバナンス > データの更新権限

The screenshot shows the 'Data Update Permissions' page. On the left is a sidebar with navigation items: ガバナンス, ユーザー, グループ, 権限, 属性, アクティビティログ, ライセンス, Sandbox, 管理ツールキット, and データの更新権限 (selected). The main content area has a title 'データの更新権限' with a subtitle 'ユーザーがデータを更新する頻度を管理します。' and a link 'ポリシーはどのように処理されますか?'. Below this is a search bar '検索権限' and a '+ 権限を追加' button. A table lists the permissions:

更新権限名	ユーザー	更新頻度
Test1		コネクタ：毎日 DataFlow：毎日

The screenshot shows the '更新権限を編集' modal. It has a title bar with a close button. The form includes:

- 更新権限名**: A text input field containing 'test2' and a delete icon.
- ユーザー**: A dropdown menu showing 'test' with a search icon and a close button.
- 特定のユーザーがデータを更新できる頻度を指定します**: A section with two dropdowns:
 - 更新カテゴリ**: A dropdown menu with 'コネクタ' selected.
 - 許可されている最大頻度**: A dropdown menu with '毎時' selected.
- DataFlow**: A dropdown menu with '30分間' selected.
- Buttons: 'キャンセル' and '保存'.

*すでに設定されいているコネクタやDataflowの更新頻度を変更することはありません。

*同一ユーザに複数のポリシーが設定されている場合、最も寛容なポリシーが適用されます。

ベータリリース

リリース機能一覧 (ベータリリース)

利用を希望される場合は、担当営業またはCSMにお問い合わせください。
ベータ機能は正式サポートが受けられません。本番データでの利用はお客様ご自身の責任においてご利用ください。

#	内容
1	Dataflowの機能追加 <ul style="list-style-type: none">SQLタイルのwindow関数有効化AIによるText-to-SQLおよびText-to-Formula

ベータリリースの留意事項と申請方法について

留意事項

- 利用を希望するお客様のインスタンスへ適用します。
- 全てのDomoユーザーに影響します。
- ベータリリースなので、本番データでの利用はお客様ご自身の責任においてご利用ください。
- Domoサポートへの問い合わせはできません。

申請方法

1. インスタンスの問い合わせ担当者より、担当CSMに申請を依頼してください。
2. 社内承認完了後、ベータ機能が本番インスタンスへ適用されます。



1. Dataflowの機能追加

1-1. SQLタイトルのwindow関数有効化

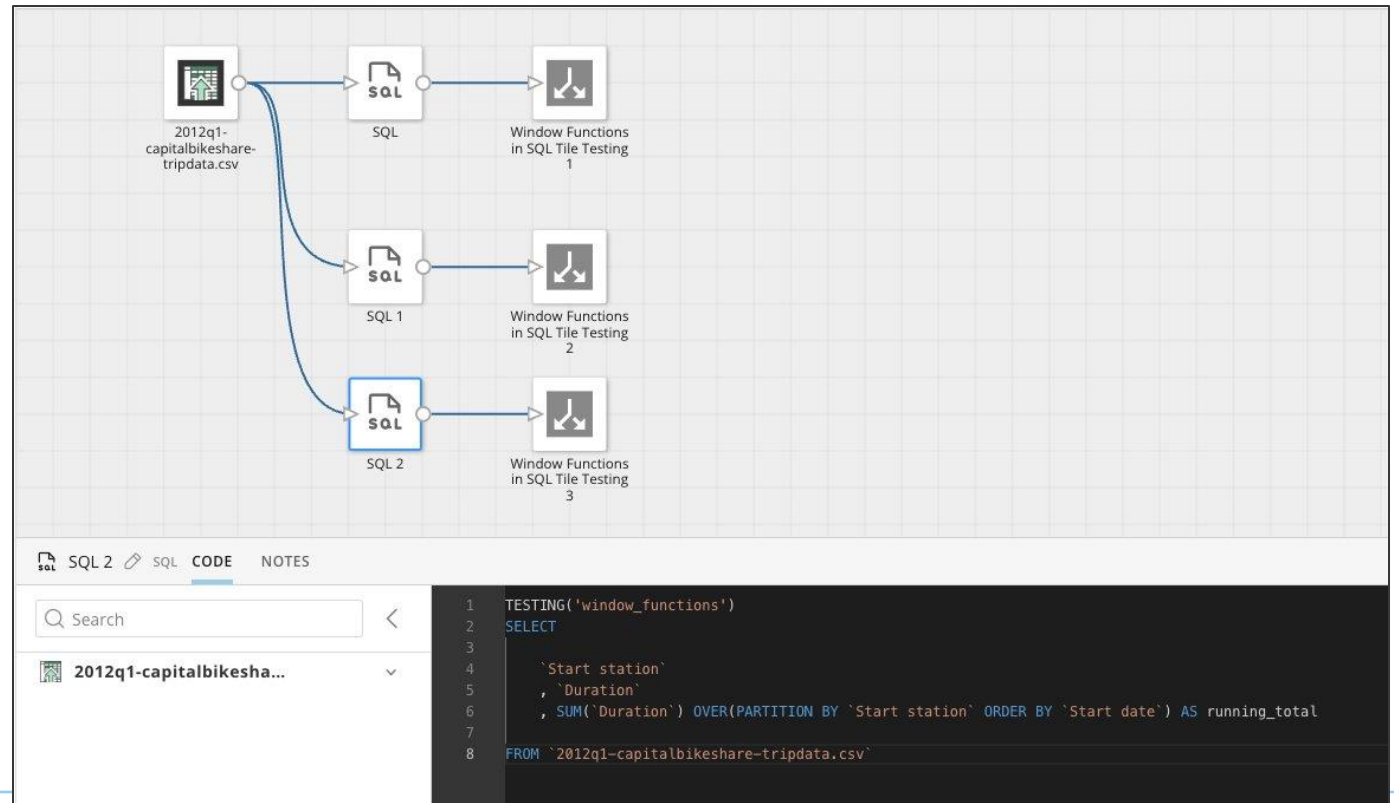
■ 概要

Magic ETLのSQLタイトルでwindow関数が利用できるようになりました。

これまではフィルタや結合、関数タイトルを駆使しないとできなかった元の行を維持したままの累計やランク等の処理ができるようになります。

■ 利用方法

Magic ETLの左メニューのユーティリティにある「SQL」タイトルを配置



1-2. AIによるText-to-SQLおよびText-to-Formula

■概要

「SQL」 タイルや「スクリプトを追加」 タイルでテキストからSQLや関数を生成することができるようになりました。

■利用方法

